

令和6年度 看護師教育の技術項目と卒業時の到達度自己評価 4年次(18回生)集計

「卒業時の到達度」は、卒業時までには到達を目指す水準を示す。

各項目について実習における技術の到達度を、次の評価基準で自己評価する。

I:単独で実施できる II:指導の下で実施できる III:実施できない

III実施できない項目は、見学の有無も記録する。

4年生:138名
 入力者:131名(95.0%)

項目	技術の種類		卒業時の到達度	I	II	III		合計人数	達成度割合
						有	無		
1 環境調整技術	1	快適な療養環境の整備	I	129	2	0	0	131	98%
	2	臥床患者のリネン交換	II	114	17	0	0	131	100%
2 食事の援助技術	3	食事介助(嚥下障害のある患者を除く)	I	100	29	1	1	131	76%
	4	嚥下障害のある患者の食事介助	II	41	88	2	0	131	98%
	5	食事指導	II	25	98	4	4	131	94%
	6	経鼻胃チューブの挿入	II	3	51	45	32	131	41%
	7	経管栄養法による流動食の注入	II	13	67	30	21	131	61%
3 排泄援助技術	8	排泄援助(床上)	II	61	58	6	6	131	91%
	9	排泄援助(ポータブルトイレ)	II	43	71	5	12	131	87%
	10	排泄援助(オムツ)	II	103	26	1	1	131	98%
	11	導尿又は膀胱留置カテーテルの挿入	II	3	46	64	18	131	37%
	12	膀胱留置カテーテルの管理	II	25	86	17	3	131	85%
	13	自然な排便を促すための援助	II	64	65	1	1	131	98%
	14	グリセリン浣腸	II	6	35	55	35	131	31%
	15	摘便	II	6	29	77	19	131	27%
4 活動・休息援助技術	16	ストーマ管理	II	12	69	34	16	131	62%
	17	車椅子での移送	I	116	15	0	0	131	89%
	18	歩行・移動介助	I	106	25	0	0	131	81%
	19	移乗介助(車椅子)	II	89	42	0	0	131	100%
	20	移乗介助(ストレッチャー)	II	38	72	14	7	131	84%
	21	ポジショニング	I	92	39	0	0	131	70%
	22	自動・他動運動の援助	II	43	81	4	3	131	95%
	23	ストレッチャー移送(ベッド移送を含む)	II	50	73	6	2	131	94%
5 清潔・衣生活援助技術	24	麻痺・体動不能患者の体位変換	II	50	73	4	4	131	94%
	25	麻痺・体動不能患者の移乗	II	36	86	8	1	131	93%
	26	足浴	I	118	13	0	0	131	90%
	27	手浴	I	109	17	1	4	131	83%
	28	整容	I	115	16	0	0	131	88%
	29	点滴・ドレーン等を留置していない患者の寝衣交換	I	116	15	0	0	131	89%
	30	点滴・ドレーン等を留置している患者の寝衣交換	II	72	59	0	0	131	100%
	31	入浴・シャワー浴の介助	II	66	62	1	2	131	98%
	32	陰部洗浄	II	105	26	0	0	131	100%
	33	全身清拭	II	114	16	0	1	131	99%
6 呼吸・循環を整える技術	34	洗髪(洗髪車・洗髪台)	II	98	31	1	1	131	98%
	35	洗髪(ケリーパッド)	II	84	44	1	2	131	98%
	36	口腔ケア	II	59	57	11	4	131	89%
	37	新生児の沐浴・清拭	II	91	40	0	0	131	100%
	38	罨法	II	53	67	4	7	131	92%
7 創傷管理技術	39	酸素吸入療法の実施	II	4	55	58	14	131	45%
	40	ネブライザーを用いた気道内加湿	II	3	46	34	48	131	37%
	41	口腔内・鼻腔内吸引	II	4	55	70	2	131	45%
	42	気管内吸引	II	4	45	69	13	131	37%
	43	体位ドレナージ	II	26	81	12	12	131	82%
	44	褥瘡予防ケア	II	49	71	11	0	131	92%
8 与薬の技術	45	創傷処置(創洗浄、創保護、包帯法)	II	15	64	34	18	131	60%
	46	ドレーン類の挿入部の処置	II	14	75	38	4	131	68%
8 与薬の技術	47	経口薬(バツカル錠、内服薬、舌下錠)の投与	II	16	75	30	10	131	69%
	48	経皮・外用薬の投与	II	23	73	31	4	131	73%
	49	坐薬の投与	II	1	44	48	38	131	34%
	50	皮下注射	II	2	41	64	24	131	33%
	51	筋肉内注射	II	2	47	59	23	131	37%
	52	静脈路確保・点滴静脈内注射	II	1	44	80	6	131	34%
	53	点滴静脈内注射の管理	II	7	75	47	2	131	63%
	54	中心静脈カテーテル挿入の介助	II	2	35	56	38	131	28%

令和6年度 看護師教育の技術項目と卒業時の到達度自己評価 4年次(18回生)集計

「卒業時の到達度」は、卒業時までには到達を目指す水準を示す。

各項目について実習における技術の到達度を、次の評価基準で自己評価する。

I : 単独で実施できる II : 指導の下で実施できる III : 実施できない

III実施できない項目は、見学の有無も記録する。

4年生：138名

入力者：131名 (95.0%)

項目	技術の種類		卒業時の到達度	I	II	III		合計人数	達成度割合
						有	無		
9 救命救急処置技術	55	薬剤等の管理(毒薬、劇薬、麻薬、血液製剤、抗悪性腫瘍薬を含む)	II	9	54	63	5	131	48%
	56	輸血の管理	II	3	51	42	35	131	41%
	57	緊急時の応援要請	I	37	53	20	21	131	28%
	58	一次救命処置(Basic Life Support:BLS)	I	36	65	11	19	131	27%
	59	止血法の実施	II	26	81	7	17	131	82%
10 症状・生体機能管理技術	60	バイタルサインの測定	I	125	6	0	0	131	95%
	61	身体計測	I	101	27	1	2	131	77%
	62	身体診査(パルスオキシメータ)	I	128	3	0	0	131	98%
	63	身体診査(呼吸音の聴取)	I	119	12	0	0	131	91%
	64	身体診査(腸蠕動音の聴取)	I	127	4	0	0	131	97%
	65	検体(尿、血液等)の取扱い	II	45	60	23	3	131	80%
	66	簡易血糖測定	II	48	61	19	3	131	83%
	67	静脈血採血	II	3	40	83	5	131	33%
11 感染予防技術	68	スタンダード・プリコーション(標準予防策)に基づく手洗い	I	129	2	0	0	131	98%
	69	必要な防護用具(手袋、ゴーグル、ガウン等)の選択・着脱	I	130	1	0	0	131	99%
	70	使用した器具の感染防止の取扱い	II	108	22	1	0	131	99%
	71	感染性廃棄物の取扱い	II	110	21	0	0	131	100%
	72	無菌操作	II	72	54	5	0	131	96%
	73	滅菌手袋の装着	II	97	33	1	0	131	99%
	74	針刺し事故の防止	II	99	26	6	0	131	95%
12 安全管理の技術	75	インシデント・アクシデント発生時の速やかな報告	I	87	35	3	6	131	66%
	76	患者の誤認防止策の実施	I	109	21	1	0	131	83%
	77	安全な療養環境の整備(転棟・転落・外傷予防)	II	102	29	0	0	131	100%
	78	放射線の被ばく防止策の実施	I	57	59	8	7	131	44%
	79	人体へのリスクの大きい薬剤のばく露予防策の実施	II	31	78	8	14	131	83%
	80	医療機器(輸液ポンプ)の操作・管理	II	16	82	29	4	131	75%
	81	医療機器(シリンジポンプ)の操作・管理	II	15	85	29	2	131	76%
	82	医療機器(心電図モニター)の操作・管理	II	7	78	43	3	131	65%
	83	医療機器(酸素ボンベ)の操作・管理	II	7	79	38	7	131	66%
13 安楽確保の技術	84	安楽な体位の調整	II	88	43	0	0	131	100%
	85	安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア(マッサージ)	II	63	58	7	3	131	92%
	86	安楽の促進・苦痛の緩和のためのケア(安楽な体位の保持)	II	75	54	1	1	131	98%
	87	精神的安寧を保つためのケア	II	62	66	2	1	131	98%
14 災害対応の技術*	88	START法トリアージ	II	44	76	2	9	131	92%
	89	応急処置(直接圧迫止血, 三角巾を用いた包帯法)	I	46	74	3	8	131	35%
	90	担架搬送	I	47	77	3	4	131	36%
15 避難生活支援の技術*	91	心理社会的支援としてのこころのケア	II	38	79	1	13	131	89%
	92	避難生活における生活環境の調整	I	45	78	2	6	131	34%
	93	避難生活における健康障害の予防	I	49	75	0	7	131	37%

*項目14,15の技術は、災害看護学技術演習における到達度を評価する。

オレンジセル・・・達成度が50%以下の設問